

## 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 入学試験（2020年度 第I期） 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う特別対応およびFAQ

### <新型コロナウイルス感染症の流行に伴う特別対応>

世界中で新型コロナウイルス感染症が経済、社会活動に甚大な影響をもたらしていることを踏まえ、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科（KMD）では修士課程および後期博士課程の2020年度第I期入学試験の出願について以下のとおり特別対応をいたします。

2020年度第I期に限り、Web エントリーシステムを利用しオンラインで出願書類の提出を受け付けます。また、出願に必要な各種証明書類が、新型コロナウイルス感染症の影響によって提出できない場合も、出願を受け付けます。出願書類については、後日原本および追加書類を郵送していただきます。書類の郵送時期については、慶應義塾大学の閉鎖が解除され、郵便物の受け取りが可能となった段階で個別に連絡します。連絡を受け取った方は、案内にしたがって、指示された期限までに必要書類を郵送してください。

また、合格発表は、オンラインのみで発表します。慶應義塾大学日吉キャンパス協生館での合格発表の掲示は行いません。

### <FAQ>

Q. 出願書類は、郵送するのでしょうか？

A. 出願書類は、手元に書類原本を保管した上で、全て指定の電子データに変換し、Web エントリーシステムを通じて期日までにオンラインで提出してください。書類原本につきましては、郵便物の受け取りが可能となった段階で個別に連絡しますので、それまでは手元に保管しておいてください。

出願書類の電子データによる提出の詳細については、Web サイトに掲載されている補足説明をご確認ください。

Q. 成績証明書、卒業証明書、卒業見込証明書が入手できない場合は、どうしたらよいですか？

A. 大学（院）に在籍中の場合は、直近の成績表をスキャン等で電子データに変換し、オンラインで提出してください。卒業（修了）生の場合は、手元にある最新の成績表および学位記をスキャン等で電子データに変換し、オンラインで提出してください。

証明書の原本は、発行が可能になり次第、各所属・出身大学から入手してください。

Q. 4月入学希望の修士課程出願者です。日本語が母語ではない場合、日本語能力試験（N1）の合格を証明する書類の提出が必要ですが、新型コロナウイルス感染症の影響で受験ができません。どうしたらよいですか？

A. 新型コロナウイルス感染症の影響で日本語能力試験を受験できない出願者については、提出された設問回答書及び面接試験等で日本語能力を確認します。

Q. 9月入学希望の修士課程出願者です。英語が母語ではない場合、英語の語学能力試験（TOEFL、IELTS など）の結果（スコア）の提出が必要ですが、新型コロナウイルス感染症の影響で受験ができません。どうしたらよいですか？

A. 新型コロナウイルス感染症の影響で英語の語学能力試験を受験できない出願者については、提出された設問回答書及び面接試験等で英語能力を確認します。

Q. GID プログラム／CEMS プログラムの出願者です。英語が母語ではない場合、英語の語学能力試験（TOEFL iBT、IELTS など）の結果（スコア）の提出が必要ですが、新型コロナウイルス感染症の影響で受験ができません。どうしたらよいですか？

A. GID プログラムの出願者は、出願時の提出を不要とします。入学試験に合格した後、受験が可能になり次第、結果（スコア）を提出してください。CEMS プログラムの出願者は、結果（スコア）の提出日の猶予を検討していますので、お問い合わせください。

Q. ポートフォリオを作成していますが、郵送するのでしょうか？

A. すべての作品や資料を写真撮影するなど、電子データ化してオンラインで提出してください。

Q. 推薦状はどのように提出すればよいですか？

A. 推薦状は、推薦者本人から PDF 形式で入試要項に記載の E メールアドレス（kmd@info.keio.ac.jp）宛に送付してください。出願者に対する推薦状であることを確認するため、推薦状および E メールには出願者の氏名を記載するよう、推薦者に伝えてください。

Q. 2次選考（口頭試問）は、日吉キャンパスで実施されるのでしょうか？

A. 2次選考は全てオンラインのビデオ会議システムなどを使用して実施します。1次選考の合格者には、接続方法等の詳細を個別に連絡します。

以上